

箴言3章5節6節 「最善へと導いてくださるお方！」

みなさんこんにちは。こうして、ご一緒にみ言葉を分かち合えることを嬉しく思います。

先日、わたしたち家族は近くの公園に散歩に行きました。

その公園は駅と繋がっていて、公園から駅のホームが見えるようになっていました。ただ、公園とホームの間には植木や柱があり、見通しは悪いので、電車の全体像というのは見えにくくなっていました。

3歳の息子は電車が大好きなので、どうしても電車が見たいと、電車がよく見える場所を探し始めました。

しかし、息子よりも最善な場所を知っていたのは父親でした。

息子に一番良い場所で電車を見せてあげようと「こっちに来ればよく見えるよ！抱っこしてあげるから！」と声をかけるのですが、

彼は父親の元に行こうとはせず、「大丈夫！」と断りました。

そして、彼は3年という人生の経験から、高いところに行ったら電車が見えるだろうと自分で考え、2階の駅の改札口に繋がる階段を登り出しました。

「2階に行っても見えないよ」という声を払いのけ、とにかく自分の選んだ場所へと行こうと反抗期真只中の彼は、階段を登りきりました。

しかし、結局電車を見ることはできず、体力の限界がきてしまいました。

そして、「見たかったのにー」と泣きながら、疲れ果てた彼は父に手をひかれて、宥められ慰められ階段を降りました。

この息子の姿を見たときに、とても自分の信仰と重なる部分が示されたように感じました。

わたしたちの天の父なる神様はわたしたちに愛をもっていちばん良いものを用意して下さるお方です。

その方を信頼するなら、わたしたちの人生はとても豊かな歩みをすることができます。

しかし、神様に頼ることをせず、今までの経験や目に見えるものに頼ろうとしてしまう自分があります。

“Leading Us to the Best” Proverb 3:5-6

I am so glad to be able to share this time with you.

The other day, our family went to the park nearby.

It is connected to the train station, but you couldn't get a full view of the train tracks from the park because of trees and other things in between.

My three-year-old son loves train, so he was looking for a place to get a better look.

But his father would know better.

He called out, “Come over here! I will hold you up so you can see better.”

But the reply was, “no, I am okay”.

From his three-year life experience, he thought height would give him better position, so he climbed up the stairs.

“You can't see from there”, his father would say, but he ignored and chose to go his way.

He didn't get to see the train in the end.

All exhausted, he was crying how he wanted to get the view of the train.

My son's behavior reminded me of my own faith.

Our Father God in heaven has the best thing prepared for us.

If we trusted him, our lives would be so fulfilling.

Yet I find myself relying on my own understanding instead of trusting God.

そして、自分勝手に動いてしまっている時は、結局完全ではない自分の判断に頼っているので、不安や恐れのおもいでいっぱいになってしまいます。

聖書の中に箴言という箇所があります。この箴言は知恵の書とも呼ばれ、ぎゅっと簡潔に実用的な言葉を用いて、神の子どもとして歩む道を示してくれる箇所です。

人間中心の知恵ではなく、神中心の知恵を教えています。

わたしたちが神の道を選ぶこと、神の知恵をもつことは神様の望みであり、正しい選択ができるように導いてくれる箇所であります。

箴言3章5節6節にはこう書いてあります。お読みいたします。

**「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず  
常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば／主はあなたの道筋をまっすぐにしてください。」**

今読んだ箇所は、自分の経験や考えによって、歩むのではなく、神様に心から信頼して従って歩む道こそ、私たちの祝福であるということを教えてくれる箇所です。

また、聖書の中には神様への最高の信頼というものを見ることができます。

マルコによる福音書という箇所ではイエス様と弟子たちが船に乗り、岸を渡ろうとする記事があります。

順調に進んでいると思った矢先、嵐になってしまいます。

弟子たちの中にはプロの漁師がいましたが、そんなプロの経験や知識では対処することのできない嵐が起きてしまったのです。

弟子たちはイエス様がいるにも関わらず、慌てふためきます。

その時、イエス様は何をされていたかという、信じられませんが、激しい突風が吹き、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであったのにも関わらず、イエス様は平安に眠っておられたのです。

イエス様のその平安はどこから来るのでしょうか。

それは、父なる神様との深い交わりの中で安心しておられたのです。

嵐も父なる神様の御手の中で起っているということを知っておられたのです。

Because I rely on my imperfect discernment, my heart would become full of fear and worries.

In the Bible, there is a book of Proverb which is collection of words of wisdom, teaching us how to walk as a child of God.

It is wisdom of God, not of the world.

It reveals the heart of God, which is for us to choose His way, doing so by His wisdom.

Proverb 3:5-6 says,

“Trust in the Lord with all your heart and lean not on your own understanding; in all your ways submit to him, and he will make your paths straight.”

It is teaching us that not relying on our experience, but trusting the Lord is a blessed way to live.

What does trusting God look like?

We can see this in the book of Mark, when Jesus and disciples were in the boat in the lake.

They were suddenly hit by a storm.

Some of them were seasoned fishermen, but their experience was no match for the storm.

Despite Jesus' presence, they panic.

Where was Jesus? Although the fierce storm was about to turn the boat upside down, he was asleep, peacefully.

Where did his peace come from?

He was assured in the relationship with the Father God.

He knew this storm was in God's hand.

このイエス様の姿から身も心も感情も全てを神様に委ねるとい、最高の信頼の形を見ることが出来ます。

主を信頼する人に与えられる祝福は、たとえどのような状況に置かれたとしても、いつも平安でいることができます。

全てをおさめておられる神様は、わたしたちに平安を与えてくださるのです。

反対に弟子たちとは、完全にイエス様への信頼を失い、目にみえるものに支配され、恐れに感情に支配されていました。

弟子たちは眠っておられるイエス様を起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言いました。

イエス様を信頼することができなくなった弟子たちには平安がありませんでした。

弟子たちは今までイエス様と一緒にいて、数々の奇跡をみて、イエス様の偉大さを一番近くで感じてきた人たちであったはずですが。

しかし、予想外の突然の出来事に一瞬で、イエス様が一緒にいるということを忘れ、不安に陥ってしまっています。

この弟子たちの姿は、わたしはとて共感することができます。

わたしはイエス様を救い主と信じてからも、なかなか神様に信頼してより頼むことができず、結局救われる前と生き方がなかなか変わっていないように感じ、焦りを覚えていた時期がありました。

こんな信仰、神様は喜ばれないと勝手に思い込み、こんな自分は神様には受け入れられないと、わたしの中にある価値観や思いによって神様を遠ざけてしまっていました。

しかし、それは真理ではありませんでした。

嵐を怖がった弟子たちに対して、イエス様はどんな対応をされたでしょうか。

こんなに一緒にいたのに、信じないなんてもう弟子失格！と言われたでしょうか。

イエス様は弟子たちの批判めいた声にも応答して下さり、波を静められました。

イエス様は不信仰な者の声にも立ち上がって下さり、神様の力、み業を見せて教えてくださいました。

In Jesus, we can see what trusting God wholeheartedly would look like.

Those who trust in God has unshakable peace in any circumstances.

God, who is in control, grants us peace.

As for the disciples, they couldn't trust Jesus, and what they saw made them full of fear.

They woke Jesus and asked, "do you not care if we drowned?"

When the trust was gone, the peace was also gone from them.

Being so close to Jesus and seeing all the miracles, they should have known his greatness.

But the unexpected incident made them forget who is with them, and they became anxious.

I can relate to them so well.

Even after I got saved, I wasn't able to trust God fully.

I felt like nothing has changed with my life and became very frustrated.

I thought God wouldn't be pleased with me with such small faith. So, I distanced myself from God based on my own understanding.

But that was not the truth.

How did Jesus respond to the disciples?

Did he say they were failures?

Even to their criticism, Jesus responded by calming the storm.

He cared for the faithless and taught them a lesson by showing the power of God.

神様はわたしたちが信頼できないことを初めからご存知なのです。

だから、私たちが何度も同じ失敗を繰り返しても、少しずつ信頼していけるよう、その時々でみ業を表してくださいます。

わたしたちの不信仰さをあきらめずに、信仰を引き上げてくださる愛なるお方なのです。

神様はわたしたちが信頼しているか、していないかに関わらず、日々、信じていることができるように最善へと導いてくださる方です。

神様はわたしたちがまだ見たことない、素晴らしい景色を見せてあげたい、豊かな人生を送ってほしいと心から願っておられます。

ぜひ、誰よりも、何よりも信頼できる唯一のお方に心を尽くして信頼することを日々選択していきたいと思います。

最善へと導いてくださる神様に「あなたは信頼できるお方です！」と信頼していくことを共に、求めていきましょう。

それではお祈りをさせていただきます。

愛する天の父なる神様、

箴言のみことばからあなたは、私たちが唯一信頼できるお方であることを教えてください感謝いたします。

あなたに信頼するならば豊かな人生を歩むことができる。最善のものを用意して下さるということをご今日また改めて知ることができて感謝いたします。

しかし神様、私たちは弱いものです。あなたの道をそれてしまうものです。

しかしその私たちの不信仰さも、あきらめずに最善の道に導いてくださることを心から感謝いたします。

どうぞ神様、今苦難の中にある方々が、あなたへの信頼の道へと導かれますように働いてくださいますようお願いいたします。

日々あなたを信頼することを選択していくことができるように私たちを強めてください。

この時を感謝いたします。主イエスキリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

He is aware of our lack of faith.

So, he is patient with our failures, revealing himself each time to help our faith to grow.

He doesn't give up on us, but with love, lifts us up.

Whether we can trust him or not, he guides so that we can trust him better each day.

Because he wants us to enjoy an abundant life that we have not yet experienced.

Let us choose to trust him day by day, as he is the only one who is worthy to be trusted.

He wants to give us his best – let us together seek to trust him better.

Let's pray together,

Father God in heaven,

Thank you for teaching us that you are the only who is worthy to be trusted.

Thank you for teaching us that by trusting you, we can live an abundant life and enjoy what is best.

But we are weak, and we often lose the sight of you.

But thank you for your patience that you continue to lead us back to your ways.

Father, for those who are struggling right now, may you guide them so that they could trust you.

Strengthen us so that we can choose to trust you day by day.

Thank you for this time together. In Jesus name we pray, Amen